

AI リテラシーの育成を目指す教材開発と評価

教育実践高度化専攻 地域・教育課題解決コース

ICT 活用・科学ものづくり推進系

氏 名 中村 亮健

Society5.0 の社会では、AI と適切に関わり、利活用できることが不可欠となる。そのため、諸外国では初等中等段階から、AI リテラシー教育が行われているが、日本では AI リテラシー教育が確立されていない。そこで、本研究では、小学生を対象に AI リテラシーの育成に着目した教材開発を行い、その評価を行った。授業実践は、「総合的な学習の時間」において、小学校 5 年次に 10 時間、進級後の小学校 6 年次に 13 時間行った。授業では、人型ロボット及びプログラミングソフトを活用して、体験的に AI を学習できるようにした。また、AI の特徴や仕組み等を理解する学習だけでなく、学んだことを生かして AI の活用方法を企業に提案する学習も取り入れて授業を展開した。

研究の結果、児童は AI への興味・関心を向上させ、AI に関する理解を深化させたことで、AI 活用センスが向上した。AI リテラシーの育成に一定の成果得た本研究は、AI リテラシーの育成に有効であると考えられる。また、小学校段階においても、児童の発達段階に即した教材を活用することで、AI リテラシー教育が成立することが示唆された。